

藤前干潟ふれあい事業とは？

生きもの豊かな藤前干潟の重要性を伝えるため、行政やNPOなどが協働してさまざまな活動を行っています。ぜひ 皆さん藤前干潟に遊びに来てください！

展示

藤前干潟写真展の作品などで野鳥や藤前干潟の魅力をご紹介します。



野鳥観察



季節によってかわるさまざまな種類や姿の鳥をみんなで観察しました。

ワークショップ



鳥の模型に色を塗ったり、音楽の演奏をしてみたり！
いろいろな体験をとおして藤前干潟とふれあいました。

講演



様々な手法でじっくり藤前干潟にかかわるお話を聞くことが出来ました。

スタンプラリー



藤前干潟に関する施設を回って景品ゲット！

2023年度の

イベントの様子をのぞいてみよう！

干潟体験

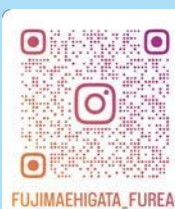


たくさんの干潟の生きものと出会うことが出来ました！
今年はどんな生き物に出会えるのでしょうか？



藤前干潟ふれあい事業 Instagramアカウント開設！

藤前干潟に関する情報やイベント内容について発信します！みなさんのフォロー、いいね！、シェアをお待ちしております！



藤前干潟ふれあい事業 YouTubeチャンネル開設！



YouTubeで藤前干潟ふれあい事業でのイベントの様子やここでしか見られない様々なコンテンツを用意していきます！
ぜひチェックしてみてね！



藤前干潟ふれあい事業 ウェブサイト！

藤前干潟ふれあい事業のイベント情報をこちらのウェブサイトで随時更新します！



チェックしてみてね！



藤前干潟の歴史

～守られた干潟を未来へつなぐ～



その昔、伊勢湾の奥には広大な干潟が広がっていました。しかし工業用地としての利用や大規模干拓で埋立が進み、最後に残っていたのが藤前干潟です。

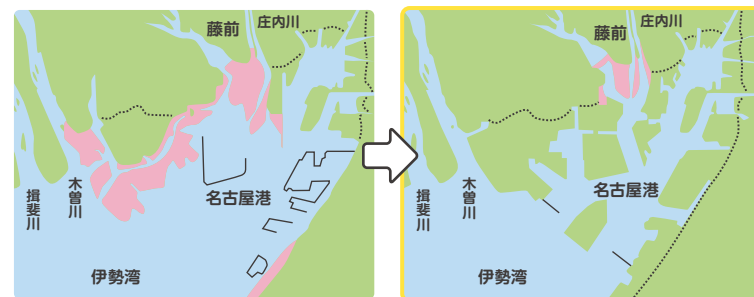
しかし、その残されたわずかな干潟にも埋立の危機が訪れます。ごみの埋立処分場とする計画が発表されたのです。

当時の名古屋市は年々ごみが増え続けていて、今まで使用していた埋立処分場ではもうわずか数年で埋める場所が足りなくなってしまうと予想されたため、新しい埋立場所が必要となっていたのです。

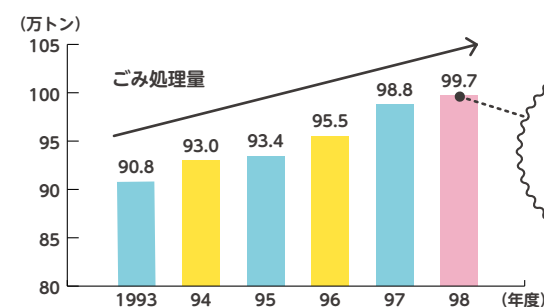
それでも、藤前干潟は渡り鳥をはじめ多くの生きものが生息する大切な場所であったため、守る必要があるとの市民の声が高まりました。

名古屋市は悩みぬいた結果、「ごみの処理も渡り鳥もどちらも大切」として、1999年1月に埋立計画を中止し、2月にごみを大幅に減らすことを呼びかける「ごみ非常事態宣言」を出しました。

そこから市民、事業者、行政が一体となり、名古屋市の人々が力を合わせて徹底的な分別・リサイクルに取り組んだ結果、今では埋立量を10分の1以上に減らすことができました。



点線：埋立て前の海岸線 ピンク：干潟



焼却・埋立処理能力の限界

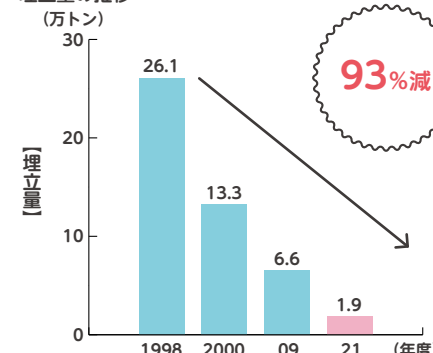
ごみ集積場所



愛岐処分場



埋立量の推移



93%減

ラムサール条約湿地 藤前干潟

ラムサール条約は1971年2月2日にイランの都市ラムサールにて開催された国際会議で採択された、正式名称を「特に水鳥の生息地としての国際的に重要な湿地に関する条約」と呼ばれている条約です。

藤前干潟は、国の鳥獣保護区に指定された2002年にラムサール条約に登録されました。多くの人々の協力のもとに守られた、渡り鳥の重要な飛来地である藤前干潟は2022年11月18日にラムサール条約登録20周年をむかえました。これからも引き続き藤前干潟を守るため、名古屋の環境のため、一人ひとりが分別・リサイクルなどの環境を守る活動に取り組むことが大切です。

